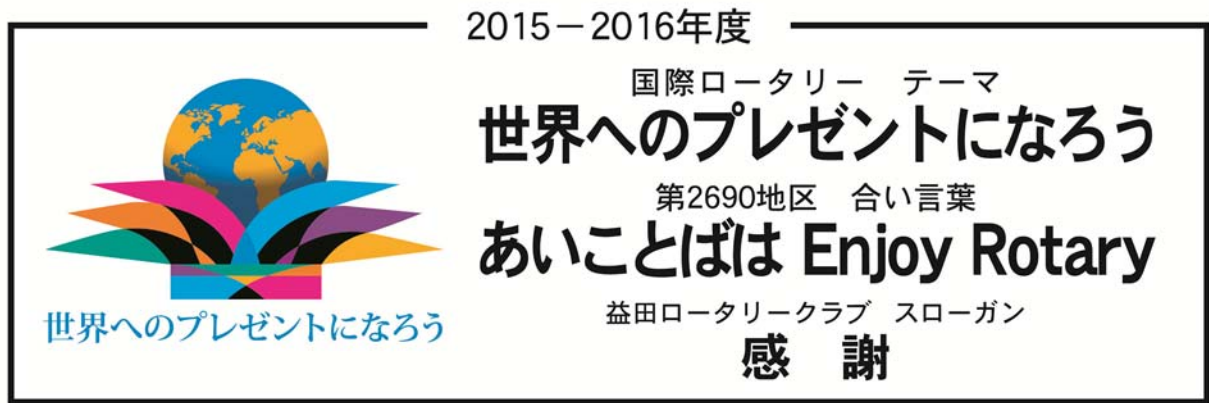




2015年10月30日〈金〉第3例会 第2641回
 例会場：益田商工会議所 2階会議室 事務局 TEL23-3392 FAX23-4069

移動例会「グラントワ」

~~~~~プログラム~~~~~

- ◎開会の言葉 12:30 山根幹事
- ◎点鐘 佐々井会長
- ◎ロータリーソング……美術館での開催につき、割愛します。
- ◎ゲストスピーカー&ビジター紹介 佐々井会長
- ◎食事案内《きりた》 右田SAA
- ★MY箸をご利用の方は「MY箸BOX」に割り箸をお返し下さい。次週MY箸率を発表します★  
 前例会(10月23日)MY箸率報告……12名うち5膳返却で41.67%でした。
- ◎会長挨拶 佐々井会長
- ◎スマイル報告 右田SAA
- ◎幹事報告 山根幹事
  - 1. 第5回〈10月〉理事会報告
    - ①11月例会予定について(予定表添付)……1. 例会は商工会議所2F例会場で行う。2. 家族例会はどうか?会員の意見を聞く。
    - ②会員退会届について……松倉会員の退会 10/23 付承認。
    - ③その他……1. 国際大会(韓国ソウル)参加を呼びかける。2. 中島会員の積立基金について。
  - 2. 11月のロータリーレートは10月と同じ、1ドル=120円です。
  - 3. その他

### ◎委員会報告 クラブ管理運営委員会

| 総 員 | 出 席 | 欠 席 | 長 欠 | M U | 出席率 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 16名 | 名   | 名   | 名   | 名   | %   |

- ◎閉会点鐘 13:00 佐々井会長

~~~~~

開館10周年記念企画展『祈りの仏像—石見の地より—』鑑賞

解説：グラントワ学芸課長 椋木 賢治(むくのき けんじ) 様

MU 10/29 (浜田RC) 矢富会員

創立S36年1月24日 THE ROTARY CLUB OF MASUDA 承認S36年3月16日

会長 佐々井智恵子 副会長 増野泰樹 幹事 山根哲朗 副幹事 永島一忠 会計 赤木利光 SAA 右田明

市民学習センター202『中島会員を偲んで語る会』

◎黙祷 中島偕弼会員のご逝去を悼み黙祷します。

◎会長挨拶

あらためましてこんにちは。いろいろあって、久々の例会ですが皆様お元気でしたでしょうか。

私が測量士の試験に合格したことを言ったとき、中島先生が「そういえば思い出したことがある。わしも、その三角関数を知っていたお蔭で戦時中いい思いをした経験がある。是非みんなにも話したいからスピーチの機会をもらえないか」とおっしゃったので永島会員（プログラム担当）にお願いして11月に予定していましたのに、残念です。

私が入会してから現役ロータリアンとして亡くなられた大畑先生、岡本先生、飯塚会長、中島先生は特に心の中に深く刻まれております。退会后亡くなられた島田会員は写真会でのことが思い出されます。齋藤隆資先生も凜としたお姿が目に焼き付いています。

益田ロータリークラブはどうなるのだろう・・・と心を痛めております。皆様、どうぞ健康に気を付けられましてこの益田ロータリークラブへ通ってくださいますようお願いいたします。私は中島先生を見習って、仕事もロータリアンとしても生涯現役を貫く覚悟でいます。

◎幹事報告

1. 本日例会終了後、第5回〈10月〉理事会を行います。
2. 次週30日(金)は移動例会「グラントワ」です。出席確認を回覧します。
3. その他

中島会員「訃報のご連絡」で“益田ロータリークラブ会員(チャーターメンバー)”とありましたが、S 40. 1. 20 ご入会でチャーターメンバーではありませんので訂正いたします。

◎委員会報告

クラブ管理運営委員会

総 員	出 席	欠 席	長 欠	M U	出席率
17名	12名	1名	0名	4名	94.12%

◎スピーチ 「中島偕弼会員を偲んで語る会」

出席者全員が故中島会員にまつわる思い出をお話ししました。

◎スマイル報告

*結婚祝 有難うございました。……神一会員

自己紹介及び専攻について

島根県立大学 朴率喜（益田 R C）

こんにちは。私は韓国からまいりました、朴ソリと申します。現在、島根県立大学の北東アジア開発研究科の所属として在学しております。今日は、簡単に私自身に対しての紹介と今勉強している研究テーマについて紹介しようと思います。

私の出身は韓国の蔚山(ウルサン)というところです。蔚山は釜山から北側に1時間ぐらい離れている都市です。一番有名なのは、やはり「現代」自動車の本拠地であることです。「現代」は、蔚山から始まった企業であるため、自動車工場や造船所などの工業が集中している、いわゆる韓国の「産業の都」と呼ばれる都市です。そこで、私は「現代」の創立者が地元に戻元する目的で設立した「蔚山大学校」を卒業しました。韓国では大学で二つを専攻するのは、あまり珍しいことではないため、私も日本語と歴史、二つを専攻として勉強しました。高校の時代から日本のドラマや映画に興味があって自然に日本語と接する機会も多かったため、大学に進学する時、日本語を専攻に選ぶことになりました。また、大学に入ってから語学の勉強だけは足りないと感じて、昔からずっと興味をもっていた歴史も専攻することになりました。大学を卒業するときは、両方の専攻をもってもっと深い勉強がやりたいという考えで指導教授との相談の結果、日本の大学院に進学することを決心したのです。

進学を島根県立大学に決めたのは、蔚山大学と姉妹関係であるのが一番の理由でしたが、せっかく県大に進学をしたら、もっと地域性のある研究をするのが自分のオリジナリティーがあるのではないかなと思いました。なので、今の研究テーマは「16～18世紀の漂流民送還問題を通じてみた朝鮮と石見との関係」です。始めは、朝鮮時代の王に関連する重要なことを記録した『朝鮮王朝実録』という資料に、1400年代にとくに石見・周布という地名がよく出るのが分かりました。地方の報告の中でもとくに重要なことだけが載せられる、すごく価値のある資料の中に石見や周布のような日本の地方の家臣の名前や地方が何百件も出るのは珍しいことであるため、興味を持つことになりました。これは、朝鮮初期から数多くの漂流民が日本に漂着しましたが、朝鮮と地理的に距離が近い九州や対馬を除いて、本州のところでは石見地域に漂着するケースが多かったためです。特にこの研究の面白い点は、周布という名前と一緒に山口の大内氏の名前が登場するということです。なぜかという、朝鮮初期の日本は、江戸初期であり、まだ幕府の勢力が地方までは完全影響力を持てなかったため石見に朝鮮人漂流民が漂着すると、この地域の豪族である周布氏は、これを幕府に連絡すると同時に大内氏にも報告して山口を通して送還する構造であったのです。また、ただ漂流民を送還するだけでなく、この送還をきっかけにして朝鮮と直接に貿易を目指したのです。この時期に石見銀山の銀が朝鮮に輸出され、中国の明まで繋がったとうことは有名な説です。私は、この研究を通じて、竹島問題や日本海という地名問題など、韓国と日本の間に残っている様々な問題を解決できる手がかりになることを期待しています。

最後に、この半年の間に私が米山奨学生になってから感じたことに対して簡単に話したいと思います。去年は私にとって新しい挑戦を始める時期であったので緊張もしましたが、かなり辛い時期でもありました。初めての一人暮らし、初めての外国への留学など新しいことばかりで最初はときめきましたが、韓国人が一人であったため、私が失敗したらそれが韓国人のイメージになってしまう、というプレッシャーも感じました。特に、研究もよく進めなかったので自分自身に対しての存在感も低くなってきました。その時、ロータリー米山奨学生に合格したのは、自分がすこしでも日本社会に認められたと感じるに十分でした。また、他の奨学金制度とは違って、毎月の例会に参加して学ぶことやロータリーに入ったからこそ経験できる様々なイベントがあって、誇りを持って楽しんでます。後半年ですが、今の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

自己紹介と研究内容

米山ロータリー奨学生： 王賀

所属：益田西クラブ

私は子供の時から日本のアニメを見たり、漫画を読んだりして、日本の国に興味を持って来た。中学校から日本語を勉強し始め、日本語を勉強しながら日本の文化や流行などの理解に努めてきた。日本語を勉強すればするほど日本の国が一層好きになってきた。距離的にも文化的にも中国に近いが、違う所も多くあるが、その違う所に興味を持ち、是非とも日本を訪れて、自分の目で確認したい気持ちで一杯になった。高等学校を卒業後、中国で難関と言われる試験を受けて、公費留学生として日本に来た。島根県立大学に入学して、トップクラスの成績で卒業し、当時日本の独立系で一番大手のIT企業に就職し、仕事を通じながら自動車産業に強い関心を持った。その後、中国に帰国し、自動車部品企業に転職して働いた中で自動車産業について深く研究したいと考え、大学院への進学を決意した。再び留学先に日本を選んだ理由は二つある。一つは、日本が大好きであること。特に、島根県は私の第二の故郷として、深い感情を持っている。大学四年間の留学生活を通じて、島根県の人々と親しくなったが、私にとっては大きな宝物である。二つ目は、日本の自動車産業は世界的に高い技術力と販売力を持っており、これらの事も研究対象としたいので、日本に再び来た。

私の研究内容は日本の自動車企業が中国市場のシェアの確保に向けての現地化について調査検討するものである。自動車産業のグローバル化という視点から見て、現在最も注目されているのが中国市場であり、2009年以後、アメリカを抜いて、世界最大の自動車生産、販売国の位置を占めている。一方、人口の減少、若者の車離れなどにより、日本国内市場が飽和化している日本の自動車企業にとって、世界最大の中国市場に進出し、成功することが、世界で安定した地位を確保するための大きな命題となっている。私の研究は将来的に中国と日本の自動車産業に何か貢献出来れば何よりも幸いである。

今年の四月から、米山記念奨学生になって、もう半年になって来た。この半年の間に毎月例会に参加したり、イベントに参加したり、多くのロータリアンの人々に知り合って、多くの知識も学んできた。また、中国にいる家族と離れ、島根県立大学に留学している私にとって、ロータリアンの皆さんから家族同様の温かい応対をしていただくことは日本で生活をしていくうえで、精神的に何よりも心強いものがある。こうした皆さんの胸襟を開いた付き合いの中で得た教訓は、人間として大きく成長することの大切さと、国と国との関係の中で、お互いの主義や思想と別個に、人間同士が真に知り合って付き合いをすることの重要性を理解できたことである。

最後に、米山記念奨学生になって、本当に誇りを感じることである。将来も、ロータリアンの皆さんのように社会奉仕の精神を持って、多くの人々に貢献し、多くの人々にロータリー精神を広めていきたいと思う。

2015－2016年度

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

11月例会予定表

益田ロータリークラブ

ロータリー財団月間		
例会日	主 題	スピーカー
6 (金)	慶祝報告、米山学生来訪 会員スピーチ	右田会員
13 (金)	会員スピーチ 第6回理事会	矢富会員
20 (金)	会員スピーチ	樋山会員
27 (金)	会員スピーチ	赤木会員